

平成28年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告
「やってみよう！環境学習プログラム」第1回「自然観察」（テーマ：自然）

- 実施日時 平成28年7月29日（金）10時00分～16時15分
- 受講者数 26名
- 実施場所 御岳山 御岳ビジターセンター
- 実施内容

【午前】

1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・ 事務局（研究所）から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・ 環境局総務部環境政策課から開講挨拶等

2. ゲストティーチャーからの講義及び実習

（ゲストティーチャー：環境省環境アドバイザー 山室京子氏、六車貴美子氏、佐々木清子氏）

長年、自然観察会や環境学習にたずさわり、都内の山を知り尽くした3人のゲストティーチャーから、自然観察の基礎知識とその体験を聞きながら、一緒に自然観察会を体験した。

また、子供たちに人気のネイチャーゲームから、自然の中に人工物を隠すことによって、自然との関わりを考える「カモフラージュ」を、実際に生徒になったつもりで参加し、環境教育手法の実体験を行った。

- ・ 10時、御岳ケーブルカー「御岳山駅」前に集合し、事務局からの事務連絡と環境局総務部環境政策課からの開講挨拶を行う。

【御岳ケーブル御岳山駅前に集合し、事務局の説明を受ける受講者】



- ・受講生を3班に分け、3人のゲストティーチャーと御岳山駅を長尾平に向け出発。「自然発見ビンゴ」シートを配布し、ゲストティーチャーから山中に生息する草花の説明を受けながら、長尾平まで移動した。

【自然観察会の様子】



(なかなか見ることが出来ない蝶 (すみながし) を発見)

(長尾平に到着)



(班毎に、ネイチャーゲーム「カモフラージュ」を体験)



・各自昼食をとり、御岳ビジターセンターに集合

【午後】

3. 環境学習プログラム「自然に親しむプログラム」の紹介及び実習

(講師：NPO法人 環境学習研究会理事長 谷村春樹氏)

(1) 「自然に親しむプログラム」プログラム紹介

①「葉っぱ合わせ」概要

さまざまな視点からの観察を通して子供の感性を養うと共に、自然への興味・関心を高め、身近な自然の多様性や季節の変化を知ることが狙いとしたプログラム。

- ・数種類の木の葉っぱを2枚ずつ用意して、どの葉とどの葉が同じ木の葉っぱか、色や形、手触り、厚さ、におい等をよく調べて葉っぱ合わせを行う。班ごとに、なぜ同じ葉っぱだと判断したのか、また気づいた点などを発表する。
- ・発展学習として、様々な木の名前の由来について調べたり考えたりするほか、「校庭の自然マップ作り」を実施することもできる。



②その他のプログラムの紹介

「秋の宝物さがし」、「冬芽拡大図鑑」などの紹介を行った。

(2) 「環境学習の意義」について (各回共通事項)

「子供は実際に物事を体験する中で、理解し、気付き、学んで成長する。しかし、現代の子供たちは、遊びや地域との関わりが希薄であり、様々なことを体験的に学ぶ機会が少なくなっている。このため、学校教育の場で体験に基づき子供の感性を伸ばすことが、昔と比べ非常に重要となっている。環境学習もその一環であり、『自然は人間やすべての生き物のいのちの源である』ことを、実際の体験や気付きを通じて、子供の心の中に落とし込むことが大切である」等の説明があった。

○「森は命の源」

生物多様性をはぐくみ、時には海の生き物まで育てる森の仕組みは、私たちの生活の基である食を支える、食べ物を育てるエネルギーの循環の場所である。

この仕組みを知り、森を支える環境について理解することは重要である。

- ・グループに分かれ、研修で感じたことや、日頃の環境学習に関する問題点等を話し合い



- ・グループごとに話し合った内容を発表



(3) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での取り上げ方や各学校で実施した関連事例等について、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者で情報を共有した。

4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後、解散